

地域に飛び出す市民国際プラザ!

『市民国際プラザ』では、国際協力や多文化共生に関する自治体、地域国際化協会、NGO/NPO等の相談に対応しています。更に、各地の**先進的な活動**取材し、本ダイジェストでご紹介しています。

2022年度は、**多文化共生ネットワークふふ！沖縄** 代表で多文化共生マネージャーの大仲るみ子さん、(特活)沖縄NGOセンターの佐々木綾菜さんにご協力いただき、県内各地の地域の国際化、多文化共生取り組みについてインタビューを行いました。

沖縄県宜野湾市役所 (沖縄県宜野湾市)

◆地域の団体と連携しながら、多様性を尊重する意識醸成へ

宜野湾市役所基地政策部 基地渉外課で多文化共生マネージャーでもある里村圭祐さん、市民協働課 平和交流係の浜里紗也子さん、普天間奈々さんにお話を伺いました。県内3番目に外国人住民が多い宜野湾市。米軍基地施設があり米軍関係者が多いのも特徴です。複数の大学や日本語学校があることも外国人住民が多い理由といえそうです。

多様な市民が暮らす宜野湾市では、「本当に役に立つ」情報提供に努めています。市内に転入してくる外国人のための『多言語生活ガイドブック』* は、暮らしに必要な情報の他にスーパーなど商業施設の情報、沖縄文化の紹介ページも掲載しています。また、表紙には「welcome to Ginowan」と書かれたパネルを持った市民の写

真を載せ、宜野湾市にやってくる外国人へ、歓迎の温かい気持ちを伝える工夫がされています。住民への意識啓発の取り組みとして市内の沖縄NGOセンターと連携しながら「やさしいことばワークショップ」を開催したり、防災講座を通して住民同士の顔の見える関係構築にも取り組んでいます。

市役所には独立した多文化共生の担当部署は無く、市民協働課 平和交流係が担当しています。他の施策と並行して行う中で、いかに予算を獲得し、事業を継続、展開していくかも今後の課題ということです。外国人にも暮らしやすい宜野湾市を目指し、熱意を持って取り組まれる職員の皆さんの様子がとても印象的でした。*自治体国際化協会 令和2年度 まちづくり促進事業を利用して作成されました

宜野湾市のウェブサイトはこちら <https://www.city.ginowan.lg.jp/>



宜野湾市役所

沖縄県沖縄市役所、コザインターナショナルプラザ(KIP) (沖縄県沖縄市)

◆沖縄市の特徴的な取り組みと、国際交流拠点KIP

沖縄市には56ヶ国から約1800人(2022年12月時点)の外国人住民が暮らしています。市役所では英語、中国語、スペイン語のニュースレターを発行し、それを市のウェブサイトに掲載すると共に、メール配信、郵送、店舗で配布する他、来庁者のために通訳者を配置しています。また、国際交流協会やNGOと連携しながら国際交流や多文化共生事業を推進しています。

沖縄市の特徴的な取り組みの一つとして、国際交流拠点コザインターナショナルプラザ(KIP)の設置があります。2022年度の運営は(特活)沖縄NGOセンター(ONC)に委託し、外国人住民のための相談支援を活動の主軸としながら、時には市役所等への同行支援も行う他、語学講座や、外国文化紹介等を通して地域住民同士の交流を深める国際交流イベント等を行っています。外国人が相談できる窓口の数が限られ

る沖縄県において、居住している地域のサービスに特化した相談窓口は、沖縄市に暮らす外国人にとってKIPは頼れる存在ではないでしょうか。沖縄市は基地の街として栄えた歴史もあり、居住歴の長い外国人市民と、住み始めたばかりの外国人の二極化傾向があるとのこと。新しい移住者に関しては、移住時の煩雑な手続きをサポートしたり、新たなコミュニティづくりの入口として利用していただくことが多いそうです。ONCの佐々木さん、KIPセンター長の山里さんは、「相談も多岐にわたるため、多言語相談員のスキルアップや各機関へのつながりが大切です。相談支援のガイドラインの見直しなど、できることから取り組んでいます。」と仰っていました。異文化理解を深め、外国人が安心して頼れる交流拠点、相談の場として、KIPの機能の強化が期待されます。

沖縄市ウェブサイトはこちら <https://www.city.okinawa.okinawa.jp/>
コザインターナショナルプラザのウェブサイトはこちら <https://www.kipokinawa.com/>
沖縄NGOセンターのウェブサイトはこちら <https://www.oki-ngo.org/>



コザインターナショナルプラザ正面にて
スタッフの皆さん



～市民国際プラザを広く皆様に知っていただくために～

市民国際プラザのFacebookに「いいね！」をお願いします! ♪



地域に飛び出す市民国際プラザ！

『市民国際プラザ』では、国際協力や多文化共生に関する自治体、地域国際化協会、NGO/NPO等の相談に対応しています。更に、各地の先進的な活動取材し、本ダイジェストでご紹介しています。

沖縄県浦添市役所、浦添市国際交流協会

◆沖縄第4の都市、浦添の国際化に向けた多様な取り組み

浦添市は人口約12万人県内第4の都市。行く先々で活気が感じられました。2020年にはゆいレールが浦添市まで延長され、利便性も高まっています。浦添市役所 企画部 国際交流課国際交流係はCIRを含めて4名で担当されています。市内に暮らす外国人は約1200人で人口の約1%、ネパールを中心に留学生が増加しているそうです。市役所では、国際交流協会、JICA沖縄とも連携しながら地域の国際化に取り組んでおり、近年では多文化共生の取り組みも開始しました。

特徴的な事業としては、海外日系社会との交流事業があります。第二次世界大戦後、沖縄の復興の大きな後押しとなった支援への感謝の気持ちから、現在も海外日系コミュニティとの関係性を大切にしており、毎年、日系人コミュニティのリーダー的人材を育成するため、研修生を浦添市に招聘しています。CIRも活躍しており、イベントや行政手続きの通訳翻訳、英語のニュースレター発行、児童生徒への英語の読み聞かせなども行っています。

浦添市国際交流協会では企画指導員 佐久川さん、書記 城間さんにお話を伺いました。民間の国際交流推進を目的に1992年設立、昨年30周年を迎え、記念誌も発行されました。様々な国際交流イベントを実施する他、写真を多用した分かりやすいニュースレターを年2回発行し、活動の様子を丁寧に広報するなど、少数精鋭の職員の皆さんの献身的なご努力が感じられました。コロナ禍では、他地域の先進的な多言語相談窓口ともオンラインで交流され、浦添でも取り組みを始めたいと熱く語っていただきました。浦添の今後の更なる国際化の取り組みがとても楽しみです。



浦添市国際交流協会の外観
(浦添市市民協働・男女共同参画ハーモニーセンター)

浦添市役所のウェブサイトはこちら <https://www.city.urasoe.lg.jp/home>
浦添市国際交流協会のウェブサイトはこちら <https://okinawauira.wixsite.com/uira>

那覇市若狭公民館（沖縄県那覇市）

◆～社会の変化に応じて公民館の機能を常に進化させながら、誰一人取り残さない地域づくりへ～ 住民自治を育む後方支援に徹する若狭公民館

指定管理者として那覇市若狭公民館を運営しているNPO法人地域サポートわかさ、事務局長の宮城潤さんとスタッフの佐藤純子さんにお話を伺いました。

若狭地区は、自治会活動が活発な一方で、自治会加入率は低く、地域活動に参加する青年層が少ない、高い生活保護受給率、外国人住民の急増による住民との軋轢などの課題があったそうです。学生時代に芸術の専門教育を受けた経験がある宮城さんは「前島アートセンター」の代表も務め、アートによる地域活性化に手腕を発揮された経験があります。若狭公民館でもリーダーシップとコーディネート力を発揮し、従来型の公民館から機能をアップデートすることに成功します。2017年第70回優良公民館表彰「最優秀館」、2022年は国際交流基金の地球市民賞も受賞しました。

アップデートした機能の一つは相談機能の充実です。課題を抱えている人々、新しい活動を始めようとする人々に寄り添い、背中を押す取り組みも行っています。コロナ禍ではオンラインの子どもの学習支援や、ネパール人留学生への食糧支援など新たな課題に取り組みました。

社会のより弱い部分が顕在化したコロナ禍、コミュニティや地域の繋がりの重要性が再認識されました。自治会加入率が低くても、小さなコミュニティそれぞれが生き生きと活動し、緩やかに繋がることでセーフティーネットとなることも確認しました。目指しているのは課題解決につなげる住民自治を育むための後方支援。公民館活動の更なる進化に挑み続けています。

那覇市若狭公民館のウェブサイトはこちら <https://cs-wakasa.com/kouminkan/>



2018年から行っているネパール・ニューイヤーパーティーの様子 2023年は久しぶりに対面開催の予定です



～市民国際プラザを広く皆様に知っていただくために～

市民国際プラザのFacebookに「いいね！」をお願いします！

